

株式会社アーレスティ

2006年3月期中間決算説明会

2005年11月15日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ・ 2006年3月期中間決算概況
- ・ 2006年3月期業績見通し

. 2006年3月期中間決算概況

2006年3月期中間ビジネスハイライト(1)

- 2005年4月1日 菅原精密工業(株)とパスカル工業(株)が合併、社名を(株)アーレスティ山形とする
 - ▶ 東日本の中小物製品の鋳造から加工までの一貫生産拠点として位置付ける
 - ▶ 集約に関する設備投資金額： 1,068百万円

2006年3月期中間ビジネスハイライト(2)

■ 2005年4月より広州阿雷斯提汽車配件有限公司量産納入開始

- 納入先: 江西昌河鈴木汽車有限公司
- 納入部品: 北斗星(日本名: ワゴンRワイド)搭載のK14B型新型エンジン用部品
 - ・ シリンダーヘッドカバー
 - ・ オイルポンプケース
 - ・ オイルシールハウジング
 - ・ オイルパン
- K14B型新型エンジン生産計画: 年間7万5千基
(最終的には年15万基)

2006年3月期中間ビジネスハイライト(3)

■ 2005年9月に園芸事業より撤退

- ▶ コア事業への経営資源の集中のため撤退
- ▶ タナカ工業株式会社へ事業譲渡

2006年3月期中間ビジネスハイライト(4)

■ 2005年10月1日付けでヒューマンリソース部を 新設

- ▶ 企業価値を拡大していく為の人材確保
- ▶ 従業員の能力を最大限に発揮する為の人材育成
- ▶ グループ全体の人的資源の最適配置

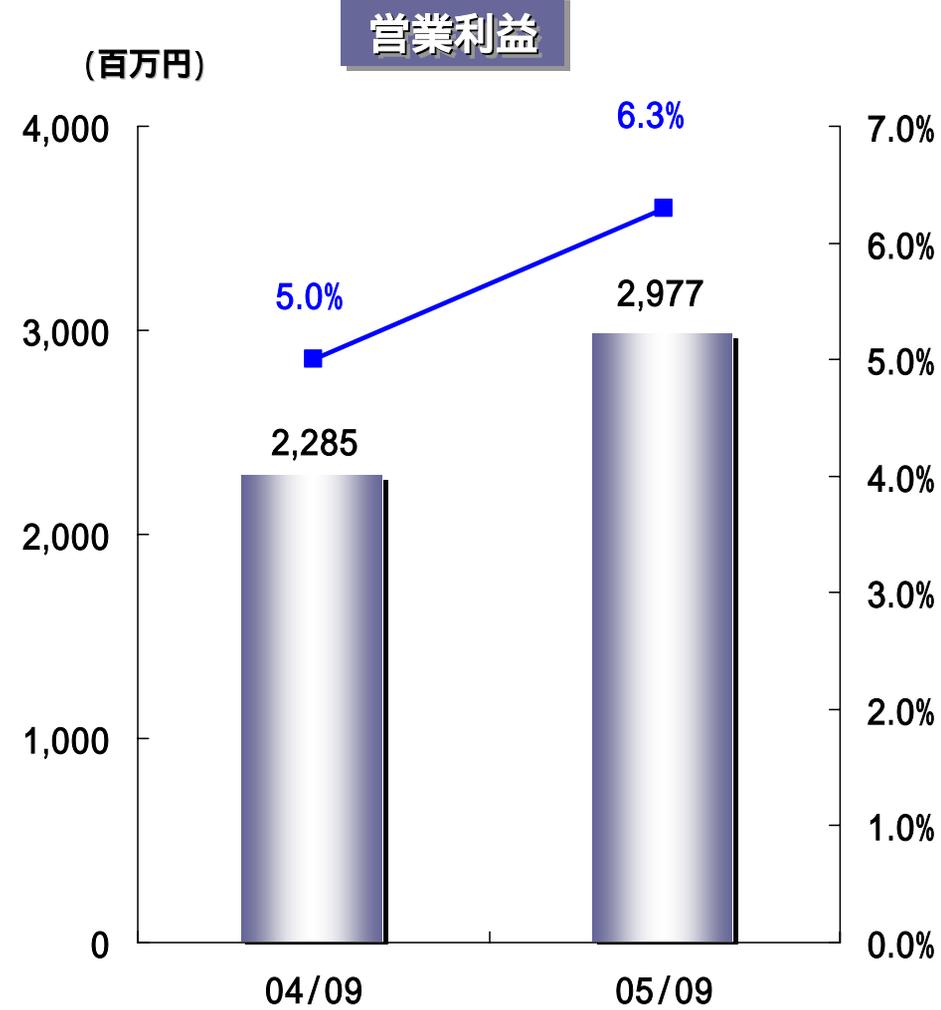
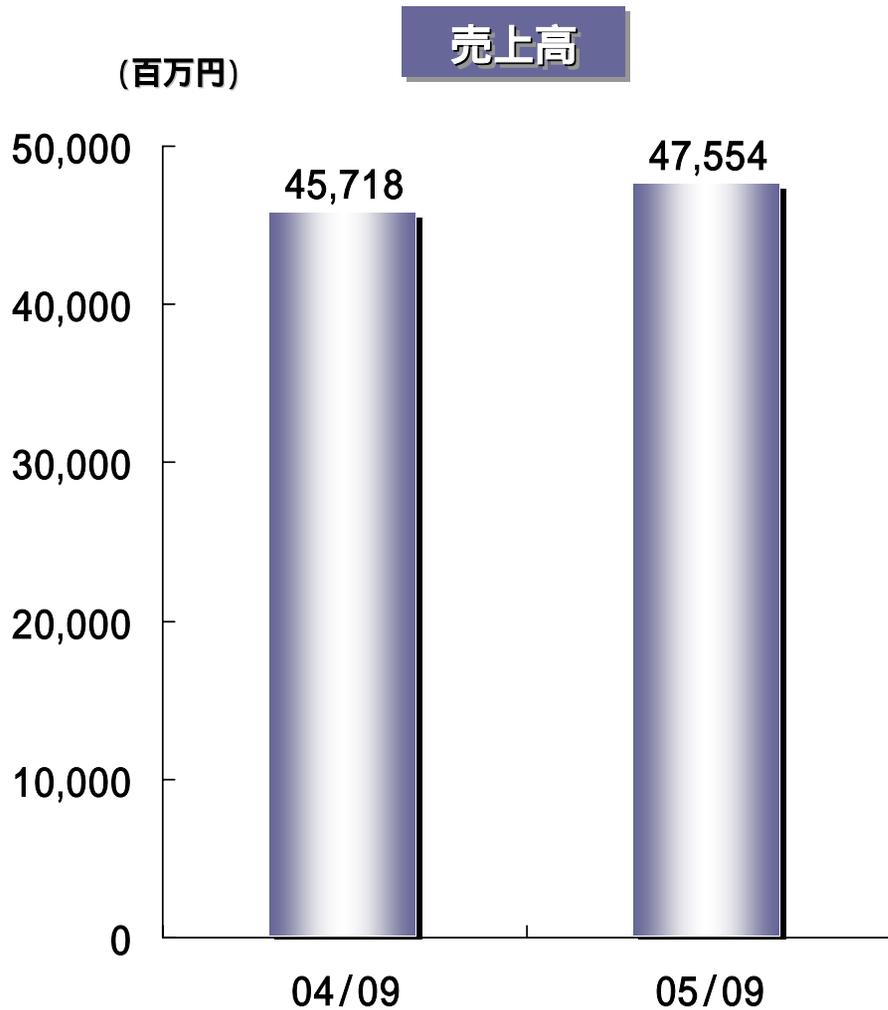
連結決算概要

- ・売上高47,554百万円(過去最高額、前年同期比4.0%増)
- ・営業利益2,977百万円(過去最高益、前年同期比30.3%増)
- ・經常利益2,831百万円(過去最高益、前年同期比47.7%増)
- ・当期純利益1,417百万円(過去最高益、前年同期比263.3%増)

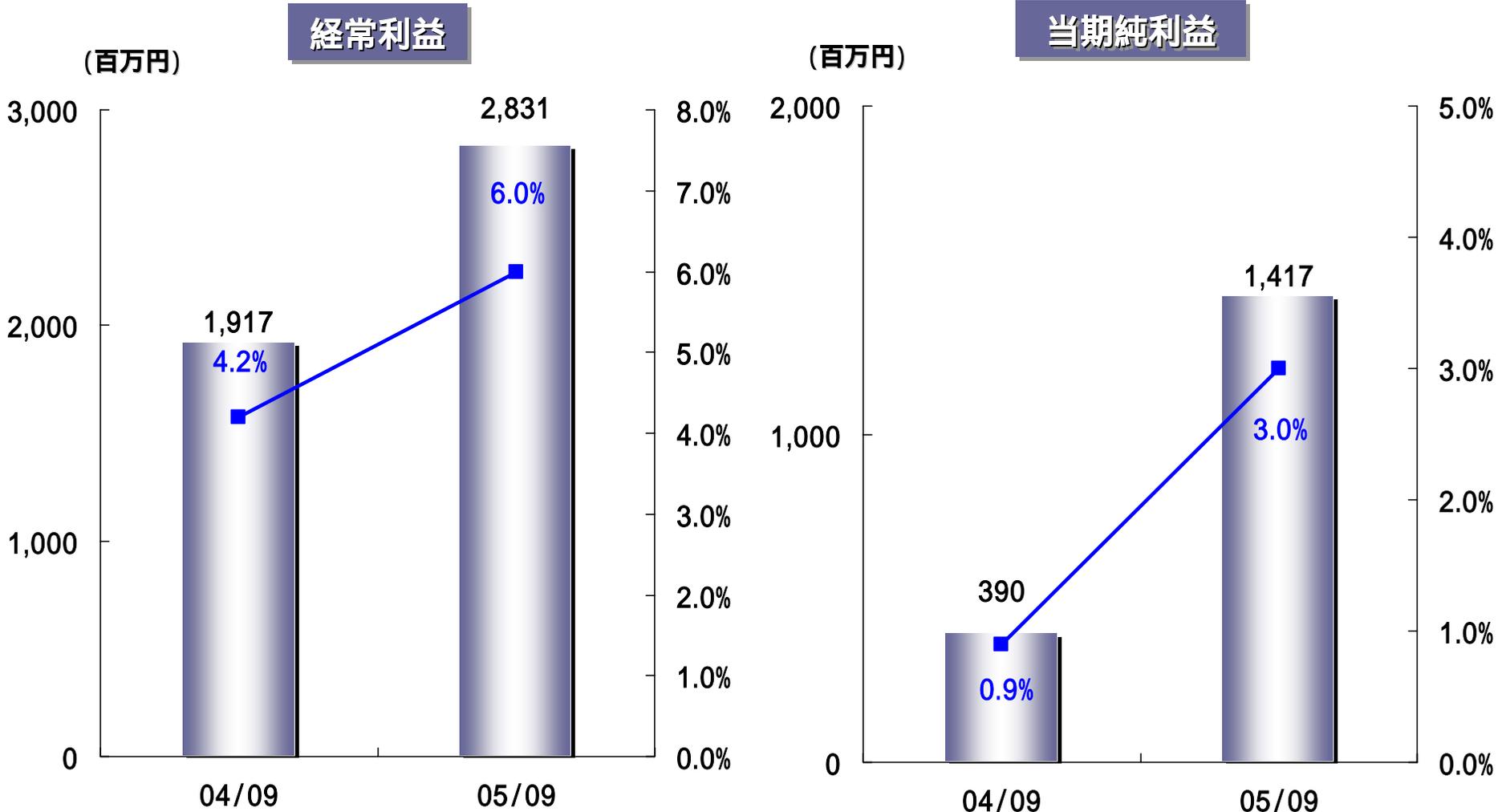
単位：百万円

	2005年3月期 中間	2006年3月期 中間	増加率(%)
売上高	45,718	47,554	4.0%
営業利益	2,285	2,977	30.3%
經常利益	1,917	2,831	47.7%
当期純利益	390	1,417	263.3%

業績推移 - 連結売上高・連結営業利益



業績推移 - 連結經常利益・当期純利益



業績推移 - 連結キャッシュフロー

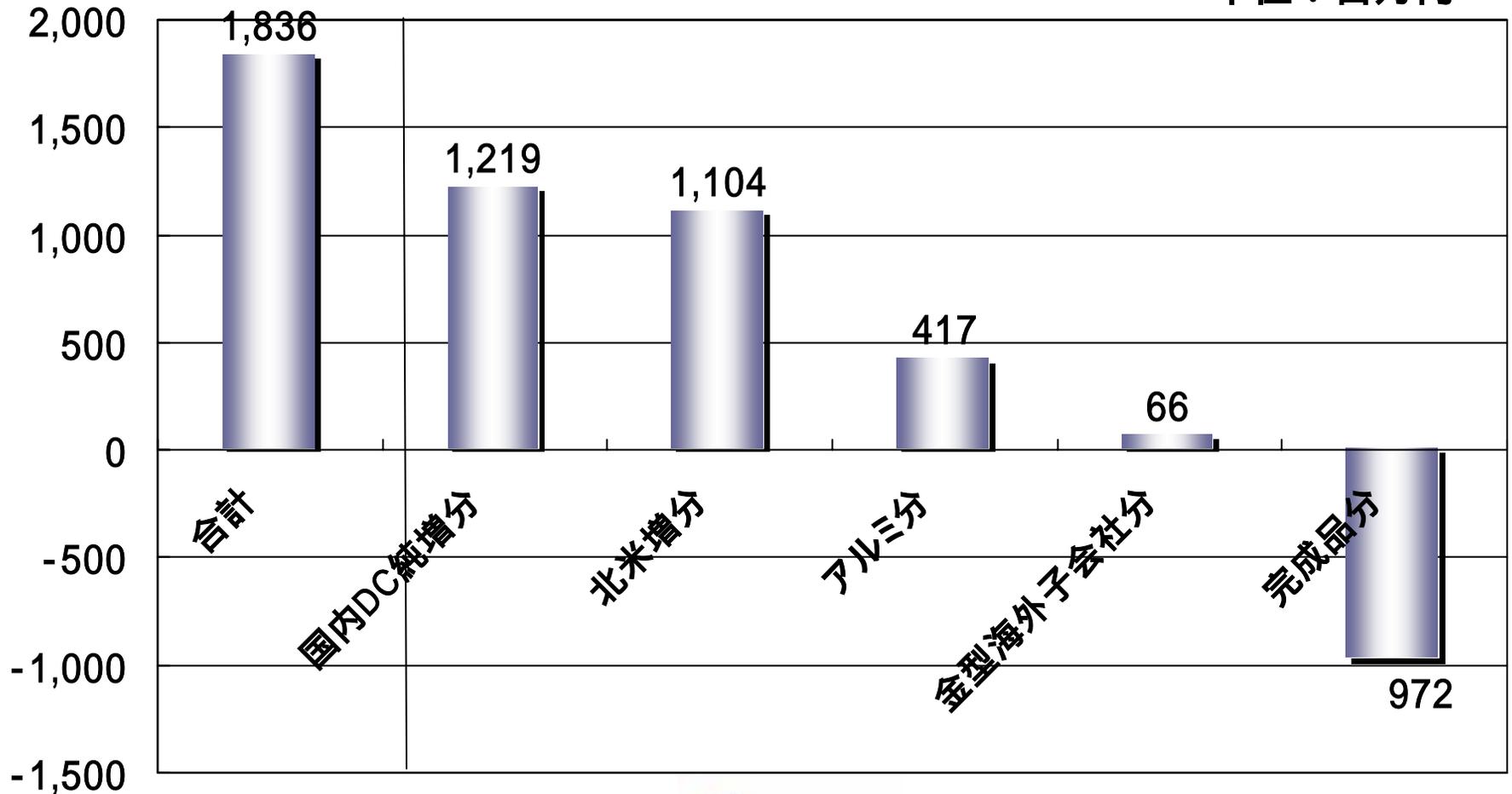
単位：百万円

	2005年3月期 中間	2006年3月期 中間
営業活動によるCF	6,171	5,446
投資活動によるCF	4,267	5,290
財務活動によるCF	1,920	46
現金等の増加額	3,123	2,803

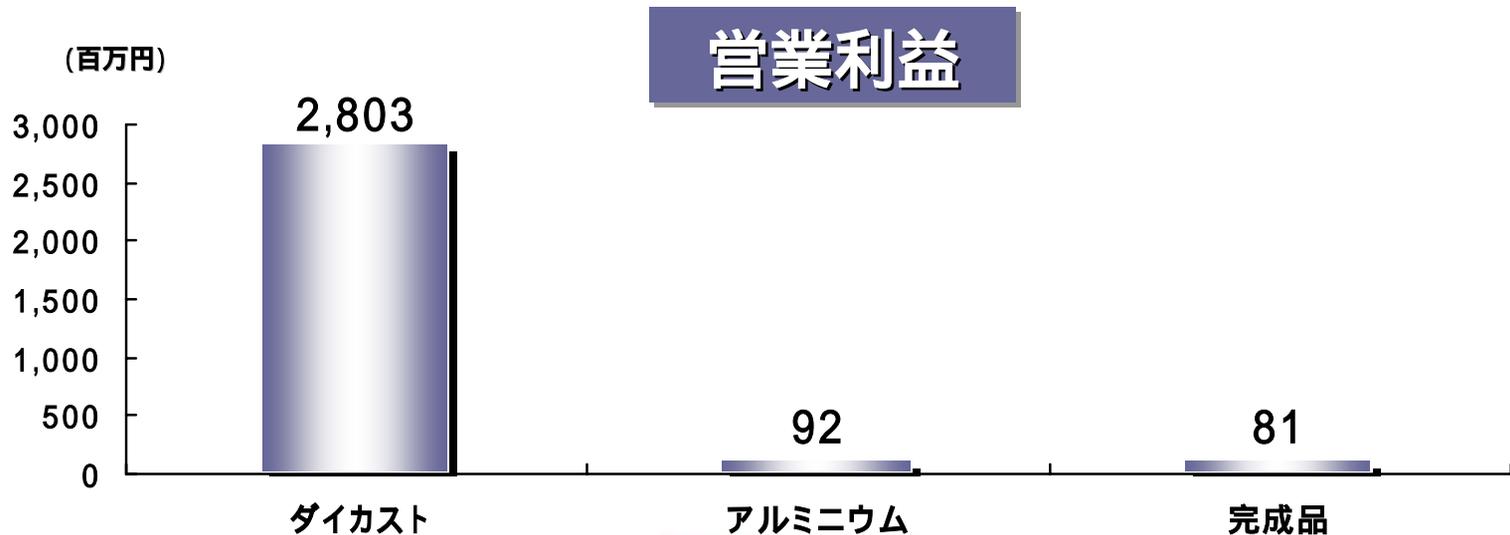
売上高要因分析（前年同期比）

日系自動車メーカー好調により大幅な増加

単位：百万円



事業別 - 連結売上高・営業利益



ダイカスト部門の状況

単位：百万円

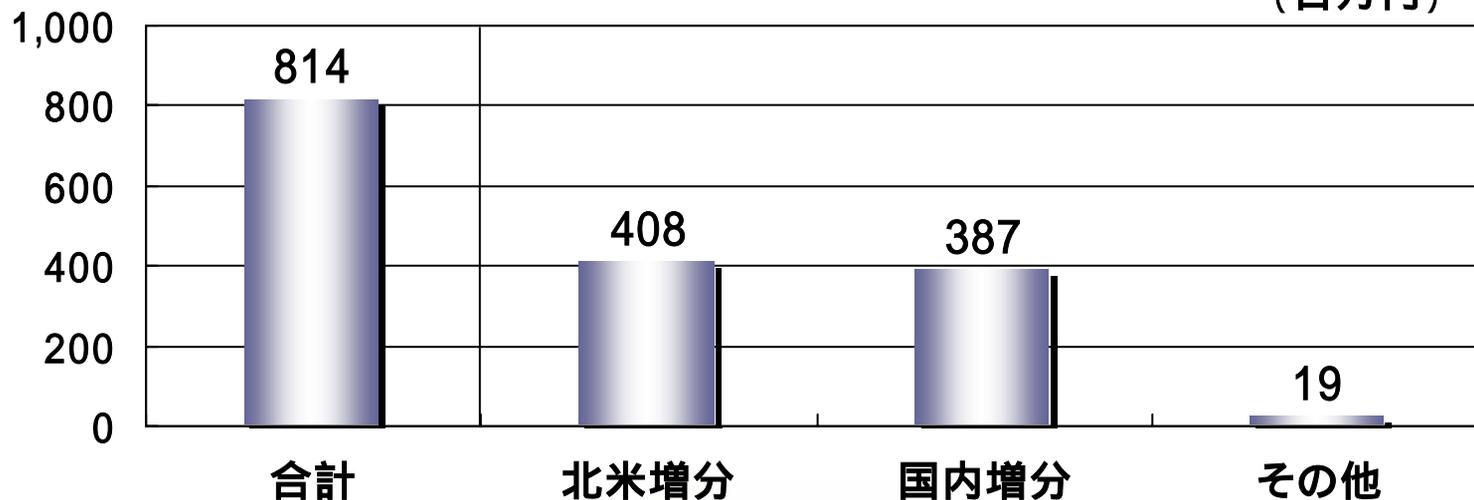
	2005年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前年増減
売上高	41,202	43,591	5.8%
営業利益	3,074 (1,989)*	2,803	40.9% **

* カッコ内は消去後

** 消去後の数字で比較

営業利益要因分析(前年比)

(百万円)



豊橋工場(旧京都ダイカスト)の業績再建

■ 実施事項

- 稼働率向上活動
- 不良削減活動
- 人材教育
- 設備メンテナンス

■ 成果

- 売上利益実績
04年度上期37百万円
05年度上期180百万円

アルミニウム部門の状況

単位：百万円

	2005年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前年増減
売上高	1,838	2,255	22.7%
営業利益	133 (122)*	92	24.6% **

* カッコ内は消去後

** 消去後の数字で比較

営業利益要因分析(前年比)

営業利益 30百万円減少

1. 材料の高騰を単価反映しきれなかったため

完成品部門の状況

単位：百万円

	2005年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前年増減
売上高	2,678	1,706	36.3%
営業利益	184 (173)*	81	53.2% **

* カッコ内は消去後

** 消去後の数字で比較

営業利益要因分析(前年比)

- 売上高・営業利益とも大幅減少
- ・半導体関連の大型案件の減少
- ・部材調達費の高騰

・ 2006年3月期業績見通し

2006年3月期業績予想

単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期 (予想)	増加率(%)
売上高	96,043	98,500	2.6%
営業利益	5,597	6,200	10.8%
経常利益	4,803	5,900	22.8%
当期純利益	2,265	3,100	36.9%

2006年3月期事業別業績予想

連結売上高

単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期 (予想)	増加率(%)
ダイカスト	85,669	89,600	4.6%
アルミニウム	3,835	4,500	17.3%
完成品	6,538	4,400	32.7%
合計	96,043	98,500	2.6%

- ダイカストは国内販売好調の見込み
- アルミニウムは販売量増加の見込み
- 完成品は市場全体の落ち込みによる

2006年3月期事業別業績予想

連結営業利益

単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期 (予想)	増加率(%)
ダイカスト	7,208 (5,076) *	5,860	15.4% **
アルミニウム	236 (198) *	200	1.0% **
完成品	361 (323) *	140	56.7% **
消去または全社	2,208	-	-
合計	5,597	6,200	10.8%

* カッコ内は消去後

** 消去後の数字で比較

- ダイカストは原価低減活動の推進と販売費の低減
- アルミニウムは横這い
- 完成品は大幅売上減少

当社の置かれている環境

- 自動車業界は日系自動車メーカーを中心に活況である
- 軽量化の追い風が吹いている
 - 燃費・CO2規制をクリアさせるため
 - 安全・環境対策や装備充実により重量増加の軽減のため
 - 運動性能や乗り心地の向上のため
- 日本国内でのダイカスト生産能力の不足が見られる

設備投資・減価償却費の推移

単位：百万円

	2002年 3月期	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期(予)
営業活動によるC.F.	3,769	6,484	8,168	8,679	9,948
設備投資額 (金型を除く)	2,525	3,375	5,656	6,253	9,905
(減価償却費)	3,438	3,678	4,501	5,295	6,300

中期経営計画(2005 - 2007年度)

1. 世界に誇れる品質
2. グローバル価格競争力の強化
3. 製品開発・技術開発
4. 継続した企業価値の増大
5. 強靱な財務体質の構築

株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して

2005年11月15日